タンザニア国　高純度透析用水製造・水質管理者育成による人工透析治療の環境向上のための基礎調査

株式会社ジー・キューブ（兵庫県神戸市）

対象国医療分野における開発ニーズ（課題）

・高額ゆえに透析治療を受けることができない患者が存在する。高度な機器は治療費が高額となる理由の一つ。
・①透析用水の純度の低さや、②透析用水装置の不適切なメンテナンスに起因する故障・不安定な透析治療供給体制による、合併症の発生が想定される。
・工業化が政府の目標通りに進まず、失業率が高い。

提案製品・技術

・高い浄化力（RO膜＋ナノろ過膜）を、現地の使用環境に合わせた装置の仕様変更で機能を削減し低価格で実現。
・透析用水装置と付属品のパッケージ化によりメンテナンスが容易で、販売先医療機関の医療従事者に対するトレーニング（装置に関する必要知識、操作方法や日常点検方法）も提供。

本事業の内容

- 契約期間：2022年7月～2023年2月
- 対象国・地域：タンザニア国ドドマ州・ダルエスサラーム州
- カウンターパート機関：タンザニア連合共和国ドドマ大学
- 案件概要：透析用水装置の現地製造販売、日常点検体制の確立に関する基礎調査。劣悪な水質の原水からも高品質な透析用水を製造可能な装置を販売後も、長く安定稼働可能な体制の整備により装置にかかるトータルコストを低下させ、透析患者の長期生存、高額ゆえに治療を受けることができない患者数の減少への貢献を目指す。

Appearance (front)

Inside (front)

透析用水装置 Tratre-Series

開発ニーズ（課題）へのアプローチ方法（ビジネスモデル）

・国立ドドマ大学との共同出資により現地JVを設立し、日本の提案法人からJVへ透析用水装置の各モジュールを輸出。
・現地JVがモジュールの組み立て製造、販売、販売先医療機関の医療従事者へのトレーニング、定期保守、故障時のメンテナンスサービスを実施。

対象国に対し見込まれる成果（開発効果）

・現地に合わせた仕様変更（機能削減）、メンテナンス体制確立による装置の長寿化によりトータルコストを削減。高額ゆえに治療へアクセスできない患者数を減少させる。
・透析用水の純度向上、装置の安定稼働による治療供給の安定化により、透析患者の生存期間長期化へ貢献。
・タンザニアが現在100%輸入に依存する透析用水装置の現地製造による産業振興、及び現地JV設立・現地採用による雇用創出。

2022年7月現在